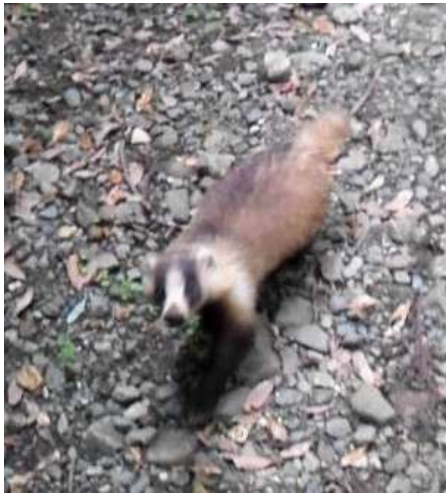


タヌキは人を化かしたりする昔話でおなじみですが、それだけ人の生活との関わりがあり馴染みもあったのでしょう。イヌ科のタヌキはまたよくイタチ科のアナグマと間違われるといえます。

本宮山の通称「宝川源流コース」の林道(このルートは山ぼ会の『東三河の名峰 本宮山』では国見岩コースなどのルートの一部になると思います。)で私はニホンアナグマ(イタチ科別称ムジナ)と遭遇しました。

下山中の私の歩く前からアナグマが餌を探していたのか林道をこちらの存在を気にせず一心不乱という感じで向かってきました。珍しいなと思ってその場で立ち止まってカメラを構えました。そのうち気づくだろうと思っていたのですが、そのままずっと私の足元まで向かってくるのでちょっとあわててカメラのボタンを押しました。



アナグマはそのまま通り過ぎるかと思ったのですが、私の足もとまで来たところでちらっと私の方を見上げた瞬間に反転して一目散に駆け出して(逃げ出して?)いきました(写真)。

本宮山では以前からリス、サル、シカ、イノシシなどは見かけたことはありましたが、アナグマをしかも至近距離で見かけたのは初めてです。アナグマもびっくりしたでしょうが私もびっくりしました。

実際、その現場ではアナグマとははっきり分かりませんでした。図鑑に載っているタヌキとも違っていたので最初はイタチかと思いました。帰宅してから撮影した写真を基に図鑑等で調べてみたところアナグマと分かったのです。

目の周りが黒いのがアナグマの特徴のようなので私が見かけたものは写真では分かりづらいかもしれませんがやはりアナグマのようです。

新東名高速道路の新しい区間が2月13日(2016年現在)に開通しました。この区間は浜松引佐と豊田東区間ですがその間に本宮山をトンネルが貫通しています。「富士山に日帰りで行けるようになった」「渋滞が緩和されるだろう」「名古屋や東京が近くなる」「観光客が増えて地域が潤う」などと人間の都合ばかりの言い分がまかり通っていて違和感があります。便利さばかり追いかけて大事なものを失うということがあります。新東名高速道路は本宮山で暮らす野生動物や植物に何らかの影響があるはずで、とても心配です。(S)